

国際ロータリー 第2640地区

Vd.9
2024年

3



2023-2024年度 RIテーマ
世界に希望を生み出そう

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「思いやりあふれる！明るく！元気なロータリーへ！」

3月は水と衛生月間

3月10日～16日 世界ローターアクト週間



2023-2024年度
ガバナー 谷 宗光

写真提供：「自宅の梅の木にとまるメジロ」中野 均（堺東RC）

Rotary
第2640地区



国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/tani>

目次

RI会長 メッセージ 1
 ガバナー メッセージ 2
 水と衛生 3
 水と衛生への新たなアプローチ 4
 「医療を止めない」被災地の病院を支援 5
 山火事・森林火災を未然に防ぐ 6
【RIニュース】
 インスピレーションはいたるところに 7
 水路に焦点を置いた国連とのパートナーシップ .. 8
【地区活動報告】
 次年度のための地区チーム研修セミナー 9
 インターアクトクラブ国内研修報告会 10
 次年度 RLIに向けて 11

【クラブ活動報告】

創立70周年記念式典、祝賀会を開催 御坊RC 12
 創立60周年記念式典・祝賀会を開催 貝塚RC 13
 少年サッカーRCカップ開催 河内長野東RC 14
 大阪超大規模ゴミ拾い 初芝立命館IAC 15
 新会員の紹介 / 訃報 16
 ハイライトよねやま Vol.287 17-18
 コーディネーターニュース 3月号 19-20
 会員数報告(2024年1月) 21
 My Rotary 登録状況(2024年2) 22
 3月の行事予定 23



ロータリー入会は成長の機会

シンガポールで希望をわかち合おう

Rotary 

2024年ロータリー国際大会


2024年5月25日～29日
シンガポール

多様性・公平さ・インクルージョン

ロータリーのコミットメント

私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界のビジョン実現に向けて取り組みます。



ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、及び活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起らないよう確認する。

(2019年1月理事会会合、決定119号)

PRESIDENT'S MESSAGE

2023-24年度 国際ロータリー (RI) 会長
ゴードン R. マッキナリー

RI 会長メッセージ
 指定記事

ロータリー平和フェローのように考える

平和への道は数多くあります。ロータリーには幸い、この真実を自ら示し続ける、ロータリー平和フェローがいます。ロータリーは毎年、世界中のリーダーが平和と発展を学ぶため、最大 130 人にフェローシップを授与しています。平和フェローは、紛争の予防と解決に取り組み、積極的平和を促進するために学び、その準備を整えます。そんな平和フェローによる、平和推進の創造的な取り組みの例をご紹介します。

持続可能性を高める

アレハンドラ・ルエダ・ザラテさんは、ロータリー平和フェローシップのプログラムで得た平和と紛争解決のための知識と、修士号を持つエネルギー・資源分野での知識とを合わせて、コロンビアの田園地方を保護するという夢をかなえるために活動しています。

ザラテさんは、2011 年に NES Naturaliza という団体を設立し、コロンビアや中南米の地方農家が持続可能な農業を行っていくための知識と研修の機会を提供しています。この支援により、約 4,500 人の農家の人の生活が改善され、彼らに起業家になるインスピレーションが与えられました。また、中南米全域で自然と社会の持続可能性を推進する一助となりました。

人種差別をなくす

平和フェローのジョフリー・ディーゼルさんとキャシー・ドハーティーさんは、フェローシップで培った平和と発展の知識を生かし、人種平等プロジェクトを共同で始めました。反人種差別の活動を通じてより平和な社会をつくる方法について研究する、北米のロータリー積極的平和アクティベーター(推進者)で構成する小委員会です。

このプロジェクトは、いわゆる「積極的平和」の枠組みとされる八つの要素



(2020 年 6 月にグローバルシンクタンク、経済平和研究所・IEPが示した世界平和度指数)が人種差別への取り組みをどのように支えられるかを考え、北米の地域社会に広める活動を行っています。

データを活用した災害対策

ジェイミー・ルスーアさんは、ロータリー平和フェローシップを通じて平和・紛争研究における社会科学の修士号を取得しました。現在、国際赤十字・赤新月社連盟の緊急時対応を指揮し、緊急時における組織間の協力のための管理運営の枠組みを設定しています。ルスーアさんは、複雑な災害対応に冷静さをもたらすための強力な手段は、研究データであると考えました。組織のプロトコル(規約)がどのようなものであっても、研究を意思決定の基盤とすることは、最も複雑で緊急時にあっても明確な方向性を導くことにつながります。

他にも何百とあるこうしたストーリーは、平和な世界を築くことのできる次世代のリーダーをロータリーがいかに育成しているかを証明するものです。これまでに約 1,800 人の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、学んだことを生かして 140 カ国以上で活躍しています。

平和フェローと彼らを支えるロータリー会員の継続した活動からインスピレーションを受け、皆さまが今後も奉仕、ファンドレイジング、クリエイティブな思考を通じて「世界に希望をもたらす」ことができますように。

ガバナー メッセージ

3月は「水と衛生月間」です。



2023—2024年度ガバナー
谷 宗光



梅の花が満開になり、桜の開花が待ち遠しくなってきました。

お花と言えば、地区大会の際にお持ち帰り頂いた、チューリップの球根。私も会社の花壇に植えていましたら最近芽吹いてまいりました。

それを見た時に、何と！'ほっこり'とした、嬉しい！という気持ちになりました。今から咲くのが楽しみです。

さて、3月は水と衛生月間です。1月1日に発生致しました能登半島地震では、ご存知の通り海岸線や港で隆起が起こり、船の発着、航行が困難となり、建物が倒壊し、その被害で沢山の方がお亡くなりになられ負傷されています。そして、生命に最も大切なインフラである水道も甚大な被害を受けました。

当初、復旧には数ヶ月、4月中旬を目標に懸命に作業を進めておられましたが、2月22日に七尾市、珠洲市等水道が、全面復旧したという、少し嬉しい情報が入って来ました。

人類が生きていくうえで、水と酸素(空気)は、最低条件ですよね。私たちは、日々の生活の中で、水や空気に対して気を遣っているでしょうか？



蛇口をひねれば、ジャーと水が出る。スイッチをポチッと押せば電気が付き、コンロをひねれば火がつく。当たり前だと思っていることが、実は当たり前ではないのですよね！

次に避難所での衛生についてですが、阪神淡路大震災からの29年間で日本列島は、幾度の自然災害に直面してきました。その度に前回の教訓を活かした対策がなされるようになってまいりました。でもそれは、満足というものではないことも理解して頂くのも、共存の中では大切なことだと思います。

私たちは、昨年末にインターアクトクラブの中高生と阿蘇へ行き、実際に地震で被災された方々と東海大学阿蘇キャンパスを見学し、お話を伺いました。

特に女性の方々は、おトイレでお困りになった事を切々と語られていました。「空腹は我慢できます。」「排泄はどうにもならないです」とおっしゃられていました。それはそうですね。ましてや、ご近所とはいえ、他人の方々と隣り合わせの環境のなかでの避難所生活は大変な問題だったと想像出来ました。それに伴い少ないトイレが男女兼用である為に辛い思いをしたり、倫理観の無い方が汚して用を済ませて、そのままにしてしまう。すると、後から後から汚物で汚したままになる。それがたまらなかったとも語ってくれました。そこで、教えて頂いたのが紙おむつです。なるほど！と参加者全員がうなずきました。

そうして見ていますと、今回の石川県としての対応も、基本的に支援物資は先ずは、水と衛生用品をまとめた数量を県庁で受けて分配していく方法を取られたのは情報が錯綜する中、公平分配する為には良かったようです。私たちの地区もお声がけ致しました物資も歯ブラシ等の衛生用品であります。また、堺のクラブの皆さんは、行政と共同で輪島市の方へ爪切りなどをご支援されています。でも、先ずは自分の命は自分で守る。各ご家庭や事業所においても、まさかの為の備えが一番大切だとお伝えたく思います。

そして、一人一人が思いやりの心をもって！人生を豊かに歩んでいきましょう！



安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。

私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めています。

ロータリー財団は、地元や海外でのプロジェクトや活動のための補助金を提供することで、世界に変化をもたらしています。

ロータリーとUSAIDパートナーシップ:ロータリーは米国国際開発庁(USAID)と提携して、ガーナ、マダガスカル、ウガンダで水と衛生設備を慶全する持続可能な長期的プロジェクトを実施しています。

「学校でのWASHターゲット・チャレンジ」:ロータリーは、水、衛生設備、教育に関する持続可能なプロジェクトを、ベリーズ、グアテマラ、ホンジュラス、インド、ケニアの5カ国で立ち上げるよう会員に呼びかけています。

WASHプロジェクト:ロータリー財団は2013年から、100カ国余りで実施されている1,000件以上のWASHプロジェクトに投資しています。財団からの補助金やロータリークラブの募金活動で得た資金を元に、ロータリー会員が浄水、衛生教育、仮設トイレの建設、廃棄物管理を支援しています。

ロータリーはこんな活動をしています



学校の子どもたちをもっと健康に



地域社会のために



グアテマラの学校でのWASHプログラム

レバノンの全24クラブは、宗教、文化、政治的な垣根を超え、政府、World Vision、ユニセフ、赤十字とパートナーシップを構築し、国内すべての公立学校に安全な水を提供するプログラムを立案しました。

パプアニューギニアでは、ロータリークラブが地元の団体と協力し、4,000人の人たちが利用できる雨水貯水タンクと配水センターを設置しました。また、地元の女性や35校の学生に研修も提供しました。

グアテマラのロータリークラブは、Escuintlaという町にある10校に通う1,793人の子どもたちのために、トイレ、手洗い場、貯水タンク、研修を提供しました。



水と衛生への新たなアプローチ

人びとが安全な水を持続的に利用できるようにするために、ロータリーが新たな方法で挑む (My ROTARY 抜粋)

安全な水、衛生施設や衛生リソースの不足は、世界で最も大きな保健問題の一つです。これはまた、解決が最も難しい問題でもあります。

ロータリーはこれまで何十年にもわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人びとが安全な水を利用できるよう支援してきました。しかし最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それは、はじめにプロジェクトが成功してもゆくゆくは失敗に終わるケースゆくゆくは失敗に終わるケースが頻繁にあるからです。



これまで井戸の設置に重点的に取り組んできたロータリーのプロジェクトは、その焦点をより効果の高い衛生教育プロジェクトに変えました。

アフリカ、南米、南アジアの一部では、まるで持続不可能となった奉仕プロジェクトの証とでもいうように、錆びた給水ポンプや老朽化した衛生施設があちこちに見られます。独立して調査を行った「Aguaconsult」社による2013年の報告では、ロータリーが実施したプロジェクトでのこのような問題が取り上げられました。また、より効果的なプロジェクトを計画する上での持続可能性の重要性にも触れられています。

ロータリーがここ数年、活動の焦点を教育、協力、持続可能性に転換したのもこれが一つの理由となっています。

ロータリー財団のグローバル補助金、ロータリーアン行動グループ、米国国際開発庁 (USAID) とのパートナーシップによって、ロータリーの水と衛生プログラムである「WASHプログラム」は、より効果的で持続的な変化をもたらしています。

地域社会のかかわりと当事者意識

今日、プロジェクト成功のカギは、補助的なリ

ソース、資金、技術、人脈、文化に関する知識といった専門知識を提供する団体との協力にかかっています。

「クラブは、地域社会とそのリーダーや専門団体と密着して活動する必要がある」と「さらに重要なのは、地域社会のニーズを理解することです。地域社会に何が必要なのかを憶測で判断してはなりません」ロータリー財団は長年の活動を通じて、長期的な変化をもたらすには地域社会の関わりが極めて重要であることを学びました。現在、他国で実施する一部のプロジェクトでは、補助金を申請するクラブに対し、プロジェクトの計画に地元住民が関わったことを証明することを義務づけています。

取り組む課題を選び、地元で利用可能なリソースや解決策を判断し、長期的な管理計画を作成するには、地域社会の参加が必要とされます。

水と衛生に関する教育指導

衛生施設の設置だけでは、WASHプロジェクトの長期的な成功は望めません。健康的な習慣を定着させることも重要です。適切な衛生習慣によって、コレラ、赤痢、肺炎などの病気を50パーセント近く減らすことができます。石鹸を使った手洗いで命を救うことができます。



United Nations

世界水の日
3月22日





ロータリーボイス

「医療を止めない」被災地の病院を支援

令和6年能登半島地震 被災地への緊急支援活動

寄稿者:新井 和雄(下館ロータリークラブ会員、第2820地区パストガバナー／緊急災害支援隊)

能登半島地震発生

元旦の所作を終え、茨城県の自宅で典雅な雅楽の調べに京の友から贈られた銘酒を傾けたころ、ゆさゆさと始まった揺れはうたた激しくなり、災いの記憶が脳裏をよぎりました。令和6年1月1日午後4時10分、最大震度7を観測した能登半島地震が発生した瞬間でした。

東日本大震災を経験した私たちは被災者の困難が直観でわかるとはいえ、日に日にあらわになる被災地の惨状を目の当たりにし、支援の手が届きにくい現実にロータリアンとして歯がゆさを覚えました。

能登で地域医療を支える神野正博さんと連絡を取ったのは、1月6日のこと。私と同期のガバナーだった神野さんは、七尾市で患寿総合病院を経営しています。

能登半島の広範囲で水道、道路、空港、港湾、役所、病院をはじめ、多くの社会インフラや住宅が破壊され、治療を必要とする被災者が多数現れました。患寿総合病院では、いつもの患者のほかに、多くの被災者、そして診療が出来なくなったクリニックからの患者も受け入れ、業務は通常の2~3倍になったそうです。そのような困難に直面し、医師や職員も被災してろくな食事も摂れない中、こんな時こそ「医療を止めない」を合言葉に病院を動かしているということです。

即決断して緊急支援隊を結成

早速、当地区の大久保ガバナーに連絡して患寿総合病院のための食糧支援を申し出たところ、即答で「すぐに実行するように」との指示をいただき、「2820地区能登半島地震緊急支援隊」を編成しました。



まず、地区補助金臨時費を申請し、地区内会員の皆さまに寄付をお願いしました。その後、食品製造・販売業を営む会員から食糧を調達し、水戸市から災害支援車両の高速道路通行許可をいただきました。

た。集めた物資は、カップ麺16,680食、500mlペットボトル飲料2,400本、パン250個、栄養ドリンク144本などの食品のほか、除菌ティッシュやペーパータオル、不織布マスク、使い捨てカイロ、ポリ袋、ブルーシートなどの必需品。これらをわずか5日でそろえ、1月11日深夜、4トラック3台とワゴン車1台に支援物資を積んで患寿総合病院に向かいました。

地域医療のレジリエンスを高める

病院近隣のロータリー会員も皆被災者であり、七尾ロータリークラブの事務局も被災したことから、誰も神野さんには連絡しないよう頼みました。当日も、搬入は私たちだけで行うから、神野さんをはじめ病院職員の方々には「医療を止めない」業務に専念するようお願いしていました。

1月12日午前8時に患寿総合病院に到着。静かに搬入を始めましたが、神野さんに見つかってしまいました。徐々に手伝いが増えていき、あっという間に保管場所に納めることができました。病院の災害対策本部から支援物資の受領書をいただき、神野さんからは「2820地区の皆さんに“ロータリーのマジック”を見せていただいた」と感謝の言葉をいただきました。

私たちは、数万人の被災者全員に対して平等に物資を配布することはできません。しかし、治療・透析・出産など、被災地で最も困難な状況に直面している災害弱者の方々のために、自らも被災者でありながら「医療を止めない」決意で地域医療を支えている病院のレジリエンス(回復力)を高める支援ができたと思います。

援助活動の最中にも、ほかの病院から転院されてきた女性が出産されました。新たな命の誕生に触れ、能登の未来に胸を熱くしました。





ロータリーボイス

山火事・森林火災を未然に防ぐ グローバル補助金プロジェクト

寄稿者:大澤 力(新潟西ロータリクラブ)

日本で初めて承認された「環境」重点分野でのプロジェクト

切迫していく地球環境

世界気象機関(WMO)とコペルニクス気候変動サービスは、2023年6月～10月の5カ月間連続で地球の平均気温が過去最高を更新したと発表しました。この世界的な高温は、エルニーニョ現象の強まりなどが大きな影響を及ぼしていると考えられますが、それだけでは説明が難しく、長期的な地球温暖化(気候変動)の影響が加わっていることが確実です。そんな2023年の夏、世界各地から山火事や森林火災のニュースが多く報告されました。8月にはハワイ、マウイ島の火事でとても痛ましく凄惨な映像がTVのニュースで報道されました。ああいった山火事や森林火災を環境整備によって未然に防ごう、起こったとしても被害を最小限に食い止めよう、というグローバル補助金プロジェクト(ドイ・ジョラケ丘陵の環境保全)についてご紹介します。

きっかけは学友からの一通のメール



このプロジェクトは、ロータリーの新しい重点分野「環境」にまつわる3年にわたる継続事業(2022年6月開始)で、第3360地区のメーチャンロータリークラブ(タイ)と第2560地区の当新潟西ロータリークラブが援助国側パートナーとなり、「ほほ笑みの国」タイで現在も継続実施されています。プロジェクト立ち上げのきっかけは、ロータリー学友からの1通のメールでした。送り主は、2019-20年度、当地区財団奨学生だった長谷部千紘さんです。今現在広島で就職されている彼女からのメールには「留学先の現地で訪問したメーチャンロータリークラブでお世話になったジョージさんから、タイ北部で計画しているグローバル補助金事業にあなたのスポンサークラブにも参加してほしい、というご案内が来たので是非ご検討をお願いします」と書かれていました。正直、自分自身や当クラブにとって、それまで縁遠いグローバル補助金事業だったので、長谷部さんの存在なくしては始まらなかった事業だったと思います。ロータリー学友が現地タ

イとの懸け橋となり、非常に小さなつながりが、とても大きな地球規模での環境問題に取り組むグローバル補助金プロジェクトへと発展していったのです。

森林火災を未然に防ぎ、地球環境を守る

ドイ・ジョラケとは、タイ北部の丘陵地帯の名前で、「ドイ」はタイ語で「丘」、「ジョラケ」は「ワニ」を意味します。巨大なワニが眠っているような形になっているのが名前の由来となっている自然が豊富な丘陵地帯ですが、残念なことに3年連続で森林火災が起こり、そのたびに数日間、または枯葉や小枝などが燃え尽きるまで続くそうです。地球温暖化(気候変動)が原因と思われるこういった大規模な山火事や森林火災は、大量の温室効果ガス(CO2)を排出します。このプロジェクトの目的は、森林火災発生を防止し、CO2発生を抑止することにより、地球環境を守ることです。

活動内容は次の通りです:

1. 29の村でのワークショップ:各村から30人が参加し、火災防止のためのワークショップに参加します。これらの参加者は、プロジェクト活動のボランティアとなります。
2. 50キロメートルにわたる防火帯の構築:上記ボランティアやその他のボランティアを募り、防火帯(延焼被害を食い止めるための带状の地域)を3年かけて構築します。
3. 10キロメートルのジョギングトレイル建設と標識の作成
4. 40の小さな堤防建設と植樹
5. 森林歩行パトロール活動

このプロジェクトは日本で初めて承認された環境重点分野での人道的奉仕のグローバル補助金プロジェクト、というオマケがつかしました。「世界に貢献する、継続した奉仕プロジェクト」という、当クラブのビジョン・行動計画にも適っていますし、完了予定の2025年に創立50周年を迎える当クラブにとって、この上ない記念事業となることでしょう。また、このプロジェクトが山火事や森林火災で困っている世界中の人びとに希望を生み出すことを心から願っています。

【RIニュース】

インスピレーションはいたるところに



ロータリー国際大会でよく見かける光景があります。異なるクラブの2人の会員がたまたま出会い、話を始め、プロジェクトのアイデアがひらめく、というものです。

5月25日～29日にシンガポールで開かれる国際大会では、隣に立っている知らない人や食事の時に会った人と恥ずかしながらに会話を始めてみましょう。実際、ある2人の会員は、2016年国際大会(ソウル)のシャトルバス乗り場で出会い、話を始め、アフリカでのプロジェクトを計画しました。



会員からよく聞くのは、国際大会で出会った人との会話が意義あるプロジェクトにつながったという話です。これはまさに、今年の大会テーマである「世界と希望をわかちあおう」と見事に一致しています。

2012年国際大会(バンコク)での公園のペンキ塗り活動、分科会後のおしゃべり、そしてもちろん、友愛の家で出会ったという例もあります。グローバル補助金プロジェクトのアイデアを見つけるために、ほかの国に新しい友人をつくることを楽しみにしている会員もいれば、自分の国や地区から来たプロジェクトのパートナー候補者に出くわす会員もいます。

国際大会でつながりを築いた世界各地のロータリー会員たちは、さまざまな取り組みで新たなパートナーと協力しています。難民へのシェルターボックスの提供、ローターアクト多地区合同情報組織の立ち上げ、ポリオ根絶の募金のためのプラスチックキャップのリサイクルなどです。

トイレ建設のためにインドのクラブとグローバル補助金を実施したジョージアのクラブについての記事からは、国際大会のインパクトがよく伝わってきます:「すべては、2017年のロータリー国際大会(アトランタ)から始まりました」。この春、皆さんはシンガポールでどんなアイデアの種を見つけるでしょうか?

【RIニュース】



水路に焦点を置いた、ロータリーと国連のパートナーシップ

ロータリー会員は、国連環境計画 (UNEP) との新たな協力を通じて地元の水路を清掃、保護、モニタリングできるようになりました。この戦略的パートナーシップは、国連の「持続可能な開発目標」とロータリーの重点分野である「環境」の両方に沿っています。

1月10日、次期ガバナーのための会合であるロータリー国際協議会で、ステファニー・アーチュクRI会長エレクトは次のように述べました。「このパートナーシップは、ロータリーの地域社会に根ざした解決策と、UNEPの技術的な専門知識を融合させるものです」

このパートナーシップの中心となるのは、水路の健全性維持に取り組むロータリークラブとローターアクトクラブのプログラムです。Community Action for Fresh Water (淡水のための地域活動) と名付けられたこのプログラムでは、クラブが河川清掃の日を設け、健全な水路の重要性について地域社会の認識を高め、基本的な水質検査を実施し、結果を報告することを奨励します。

UNEP北米事務局地域ディレクター兼代表のラファエル・ペラルタさんは、このような地域に根ざした活動は、地球規模の環境保護に不可欠であると話します。

「気候変動、生物多様性の損失、汚染・廃棄物という三つの地球規模の危機と闘うには、淡水の生態系の保護、管理、回復が基本となる」とペラルタさん。「人口が増加し、経済が拡大するにつれ淡水の需要も増加するため、淡水の生態系はますます大きな圧力にさらされています」

今回のパートナーシップは、国連環境計画 (UNEP) とロータリー第9212地区 (エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン) が2020年に開始した試験的プログラム (Adopt a River for Sustainable Development) に基づくものです。また、世界

中のロータリークラブとローターアクトクラブも、これまでに淡水の生態系を浄化するために独自の活動を行ってきました。

「健全な流域は、生物多様性、森林、湿地帯、湖沼を育みます。また、農業や経済を支え、帯水層を涵養 (かんよう) し、世界中の何百万というひととに水を供給します」と、ロータリー財団専門家グループ (Cadre) メンバーのサルバドール・リコさんは話します。「汚染された河川と流域の損傷は、火災発生を招き、干ばつを引き起こし、病気の原因となり、近隣社会の経済に影響を及ぼし、気候変動の一因となります」

ロータリー財団は、3年間にわたりプログラム資金を提供します (支援継続の可能性あり)。クラブは、地区資金を利用するか、グローバル補助金を申請して活動費用を賄うことができます。

ロータリークラブとローターアクトクラブは、地元の水域 (河川、湖沼、湿地、自然の貯水池) を特定し、その保護と回復に取り組みます。その後、地元の地域社会やその他の関係団体と協力して、水域を脅かす主な脅威を特定し、最終的に非政府組織、民間企業、政府機関と協力して活動計画を立てます。

地元の水路を守る活動を開始する方法について、詳しくは Eメール (cafw@rotary.org) でお問い合わせください。

健全な淡水生態系は社会の繁栄と活性化に欠かせないものですが、気候変動、自然・生物多様性の喪失、汚染によって、これらの生態系が脅かされています。世界各地のロータリー会員は、淡水生態系の保全と回復に既に活発に取り組んでいます。

【地区活動報告】

2024-2025年度のための地区チーム研修セミナー

ガバナーエレクト 野村 壮吾

先日、2024年2月11日(日)ホテルグランビア和歌山にて、国際ロータリー第2640地区2024-2025年度のための地区チーム研修セミナーを開催いたしました。

次年度地区ラーニングファシリテーターの豊岡 敬氏(富田林RC)にこのセミナーの目的



について説明をしていただいた後、2024年1月に開催された国際協議会の報告をさせていただき、2024-2025年のRIテーマ「ロータリーのマジック」について説明をさせていただきました。その後、次年度ガバナーの基本方針である「ロータリーの原点 四つのテストを実践しよう」について説明を行いました。



1905年2月23日にアメリカのシカゴで、ポール・ハリス他、四人のロータリアンによって始まったロータリー活動は、現在世界中の国々に広がりを見せ、世界のあらゆる場所で奉仕活動が実践されています。奉仕に対する価値観も当初のものよりはずいぶん変容してきたように感じます。しかし、変わらないものは、ロータリアンひとりひとりの奉仕の積み重ねが、社会に大きなインパクトをもたらすという点です。ロータリーの奉仕活動の原単位は、ロータリアン1人1人です。その会員個人が、行動を起こすときに是非チェックしてほしいのが、「四つのテスト」です。

ステファニーA.アーチック 2024-25RI会長は、「四つのテスト」の実践で世界はよりよくなると仰っています。思いやりのある行動を取ること、不安や落ち込んでいた心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは他者を助けることに喜びを見出します。助けられる人々、また、その周りにいる人々もこのロータリーの奉仕活動から精神的な平和を感じ、地域の平和構築推進のインパクトにつながることでしょう。



【地区活動報告】

インターアクトクラブ国内研修報告会

地区インターアクト委員長 坂東 剛

2月18日(日)、上宮太子高等学校に於いて、昨年末に行った国内研修の報告会が開催されました。開会式後最初に、顧問先生が作成して下さいました「思い出のスライドショー動画」を視聴し、その後参加各校単位での報告を受けました。内容が被らないよう事前に役割分担されており、企画時の段取り良さが分かりました。



報告内容から、アクターそれぞれが「初めての体験・素晴らしい思い出・貴重な気づき」等を得る事が出来たようで、実りある研修だったのだなとホッとしました。午後のプログラム後半には、更なる親睦と結束を求めて「マシュマロチャレンジ」を行いました。

マシュマロチャレンジを行う事で期待できる効果には素晴らしいものが有り、このタイミングでのプログラム採用に感心させられました。



【地区活動報告】

2023-2024年度 RLIに向けて！

地区RLI委員長 細川 幸三

2月18日、元RLI日本支部FT委員長でPDGの中村 靖治 様 (RI2770地区吉川RC)、大畑 茂 様 (RI2570地区朝霞RC) をお迎えし、FT研修会をガバナー事務所4Fにて開催させて頂きました。

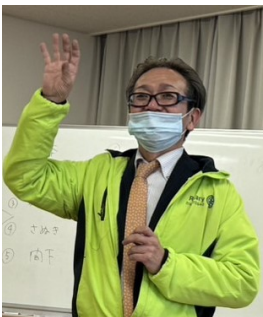
当地区参加者はRLI日本支部地区代表委員の藤井PDGはじめ、ファシリテーター10名が本番を想定した今年度最後のFT研修会となりました。

セッティングはPart III の各セッションです。各セッション担当者がFTを務め、他は参加者となりファシリテーションが行われました。

RLIのファシリテーションでは、ロータリーについて学ぶことは勿論のこと、

ロータリアンとして、場をつくり～つなげる・受けとめ～引き出す・かみあわせ～整理する・まとめ～わかちあう等、リーダーとしての合意形成スキルを高め自身の成長に役立つ研修会です。

ロータリアンの皆様、RLIへのご参加お待ちしております。



THE ROTARY LEADERSHIP INSTITUTE



【クラブ活動報告】

創立70周年記念式典、祝賀会を開催

御坊ロータリークラブ

本年度70周年を迎える当クラブは、令和6年2月4日(日)に御坊市「花ごぼう」において「70周年記念式典」及び「記念祝賀会」を開催致しました。式典当日は当市三浦源吾市長を始め、国際ロータリー2640地区からは谷宗光ガバナー、細川幸三ガバナー補佐のご臨席を賜りました。



また、当クラブの親クラブである和歌山ロータリークラブ、田辺ロータリークラブ両会長を始め地区内各クラブの会長、姉妹クラブである白河ロータリークラブ、友好クラブである美幌ロータリークラブの方々にも多数ご出席いただきました。



記念式典では70周年記念事業として行った「本を読んでPOPをつくろう」の各賞の発表と授賞式、また当クラブの継続事業である和田勇氏の顕彰事業「和田勇物語感想文コンクール」の最優秀賞の授賞式とその作文発表を行いました。この感想文コンクールは本年度で継続20年の節目を迎えるにあたり、過去の受賞作品の中から最優秀賞を選出し合わせてこの授賞式も執り行いました。記念式典終了後は

記念祝賀会を同会場レストランにて開催し、当日ご参集いただいた方々との懇親も深められ、盛会のうちに終える事ができました。

今回の周年事業を通して御坊クラブメンバー間の結束がより強固なものになり、今後の奉仕活動の糧となることを期待しています。

70th
Anniversary

Rotary 

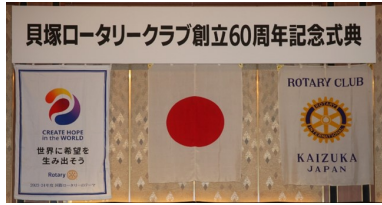


【クラブ活動報告】

創立60周年記念式典・祝賀会を開催

貝塚ロータリークラブ
会長 柳生 元成

2024年2月4日(日)、貝塚ロータリークラブは、スターゲイトホテル関西エアポート4F「鳳の間」で、創立60周年記念式典および祝賀会を盛大に開催いたしました。この記念すべき日には、2640地区ガバナー代理・地区代表幹事 久保忠生様、ガバナー補佐 宇野芳孝様をはじめとする近隣ロータリークラブの会長方、貝塚市長 酒井了様、貝塚市商工会議所会頭 東村一夫様をはじめとする諸団体の代表の方々に多数ご出席いただきました。



創立60周年を記念して、貝塚市役所本庁舎前に電波受信機能付き時計塔を寄贈しました。この時計塔には記念銘板も添えられています。また、貝塚ロータリークラブのホームページを全面的にリニューアルし、より情報の提供を充実させます。



式典の後には、貝塚南高校ブラスバンド部の素晴らしい演奏のもと、祝賀会が開かれました。岸和田ロータリークラブの雪本栄会長からの乾杯の発声に続き、



アトラクションや余興が行われ、参加された皆様と共に楽しい時間を過ごしました。



この記念式典および祝賀会の成功は、ご出席いただいた皆様、ならびにご協力とご指導を賜りました多くの皆様の支援の賜物です。改めて深く感謝申し上げます。



60th Anniversary

貝塚ロータリークラブは、1964年(昭和39年)2月11日に岸和田ロータリークラブを親クラブとして33名のチャーターメンバーによって設立されました。創設以来60年間にわたり、先輩ロータリアンの指導とサポートにより多大な成果を上げてまいりました。これらの成果は、私たちが職業に専念し、奉仕の理想を追求する上での指針となっています。心からの感謝を込めて、これからもロータリークラブの理念に従って活動を続けてまいります。



【クラブ活動報告】

少年サッカー ロータリーカップ開催

河内長野東ロータリークラブ

河内長野東ロータリークラブで恒例の社会奉仕事業であるロータリーカップを2月12日(休日)に開催しました。2009年から始まり、コロナ等で中止もありましたが、今年2024年14回目になります。

場所はJリーグ セレッソ大阪の協力で、ヤンマースタジアム長居で行いました。本物のサッカー場で普段は入ることができないグラウンドや天然芝のピッチで、おもいきりプレーして、貴重な経験をして将来につなげてほしいという願いから毎年続けています。

今年も小学6年生を対象に9チーム、選手132人、指導者26人とセレッソコーチ7人、それにロータリークラブのメンバー他その家族、関係者が加わり、大人数での開催となりました。

今回は、特に谷 宗光ガバナーが開会式からかけつけていただき、ご挨拶もいただきました。

ピッチをAコートとBコートの2つに分け、それぞれ15試合を行いました。Aコートでは小学生7or 8人とセレッソコーチ5人の対決でプロの競技を体験してもらい、Bコートでは、チーム対決でそれぞれ12分間の試合を行いました。勝敗を競うのではなく楽しくプレーしてもらうことを趣旨としています。各チームにロータリーメンバー1人がつき楽しんでいる選手を1人選び閉会式でロータリー賞を用意し渡しました。谷ガバナーもずーと試合をみていただき、ガバナー賞の選手3人を自ら選び盛り上げていただきました。

当日は少し寒かったのですが、好天にめぐまれ、観覧席の大勢の保護者が見守る中、無事終了することができました。

社会奉仕事業は単年度が原則なのですが、毎回感動があり、又来年ということが続いてきて14回も開催しています。

一方、資金面のこともあり、こうした活動を継続させ、発展させ、かつ円滑に推進するために平成22年にNPO法人「南大阪子ども応援団」を設立し、今回に至っています。

文責: 柿花 広報委員長



【クラブ活動報告】

大阪超大規模ゴミ拾い ～More Happiness & Trash Less～

初芝立命館高等学校インターアクト・環境班

2024年2月11日(日)、初芝立命館高等学校インターアクトクラブ・環境班主催で「大阪超大規模ゴミ拾い」を開催しました。

本イベントは、2023年10月28日(土)に初芝立命館中学校・高等学校のIACが参加した「プロキングin難波」という「ゴミ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)を合わせて、街を綺麗にしよう！」イベントから着想を得たものです。この10月のプロキングの経験を生かして、初芝立命館高等学校IACが「難波を歩きながら掃除をする」企画をたて、2月11日当日に、初芝立命館中学IACの生徒たちを始めとする計16校の学校が集結し、大阪金剛RCも参加しました。

2月11日(日)10時、86人ほどが道頓堀のびっくりドンキー裏側に集合し、なにわ公園まで1時間半ほどゴミ拾いを行い、街を綺麗にしました。



今回はただ「ゴミを拾う」だけで終わらず、3つのアクティビティ「①ゴミ袋でアート作品を制作 ②Tシャツに参加者の寄せ書き ③Tシャツの裏に手形アートの作成」を実施し、活動したメンバー同士のコミュニケーションを深め、ゴミ拾いの輪を広げることに力を入れていました。



ゴミを入れる時に「お願いします。」、ゴミを

8～9人の班に分かれ、燃えるゴミの袋を持つ人と燃えないゴミの袋を持つ人に分け、ゴミ袋を持たない人が

受取る人が「有難うございます。」と言葉を掛け合いながら活動をしました。

ただのゴミ拾いだけでなく、幸せを増やす“きっかけ”、ただの参加者だけでなく、同じ志を持つ“仲間”。ゴミを無くして幸せを増やそうという「More Happiness & Trash Less」をスローガンに「沢山のひととゴミ拾いがしたい」と全国からの募集を開始して半年(9月～2月)。全国の参加団体は50を超えました。今回の活動で終わりではなく、ゴミ拾いの輪は大阪から全国へ!! 3月に全国一斉ゴミ拾いが決定しました。

初芝立命館IACの強い気持ち・勢いをRID.2640地区やインターアクト以外にも広げていきたいと思って活動を続けています。



新会員の紹介

	クラブ名 橋本ロータリークラブ 氏名 いしわき まさてる 石脇 正晃 職業分類 不動産業 生年月日 1970年8月28日 入会年月日 2024年1月18日		クラブ名 和泉南ロータリークラブ 氏名 かない つかさ 金井 司 職業分類 建設機械買取・販売 生年月日 1983年5月10日 入会年月日 2024年1月11日
	クラブ名 堺北ロータリークラブ 氏名 ふじなが たかし 藤永 誉 職業分類 金属部品製造 生年月日 1969年2月14日 入会年月日 2024年1月1日		クラブ名 堺北ロータリークラブ 氏名 わだ ひろみ 和田 広美 職業分類 障害福祉 生年月日 9月5日 入会年月日 2024年1月1日
	クラブ名 新宮ロータリークラブ 氏名 きりもと ひろみ 桐本 百実 職業分類 介護サービス 生年月日 1971年1月4日 入会年月日 2024年1月17日		クラブ名 新宮ロータリークラブ 氏名 はやし ちえり 林 知恵利 職業分類 ホテル業 生年月日 1983年1月5日 入会年月日 2024年1月17日
	クラブ名 田辺はまゆうロータリークラブ 氏名 さかもと こうさく 坂本 耕作 職業分類 産業廃棄物処分量 生年月日 1983年11月30日 入会年月日 2024年1月9日		クラブ名 田辺はまゆうロータリークラブ 氏名 ふじた まさよし 藤田 雅巧 職業分類 飲食・エスニック・建設業 生年月日 1984年8月27日 入会年月日 2024年1月9日
	クラブ名 和歌山南ロータリークラブ 氏名 いらなみ のりこ 伊良波 範子 職業分類 精神科医 生年月日 1959年2月25日 入会年月日 2024年1月19日		クラブ名 和歌山南ロータリークラブ 氏名 かねだ たかし 金田 崇司 職業分類 ペット美容品製造業 生年月日 1970年2月11日 入会年月日 2024年1月19日
	クラブ名 和歌山東ロータリークラブ 氏名 さきやま みおる 崎山 稔 職業分類 飲食業 生年月日 1971年11月29日 入会年月日 2024年1月11日	<p>ロータリーで ■■■■■ 自分の可能性を ■■■■■ 広げよう</p>	

言 報

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

堺泉ヶ丘ロータリークラブ



さかい よしひろ
 阪井 祥博 様

2023年9月4日 逝去

在籍期間 30年
 職業分類 外装工事
 表彰 ベネファクター
 マルチプルボールハリスフェロー 6回
 米山功者 マルチプル4回



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 287

2024年2月13日
発行

1. 帰宅困難な男性を保護した米山学友に感謝状

秋田県内の80代男性を保護したとして、1月18日、秋田臨港署からバングラデシュ出身の米山学友であるカビール・ムハムドゥルさん（1998-2000/秋田北RC）へ感謝状が贈られました。

この日から遡ること約1カ月前、秋田市内を運転していたカビールさんは、雪の積もる歩道を歩

く薄着の男性が両手に買い物袋を持ったまま、うずくまるようにしている姿を発見したそうです。すぐに車を止め、「おじいさん、大丈夫ですか。自宅はわかりますか。困っているなら家まで送りますよ」と声をかけ、保護。しかし、自



感謝状を受け取るカビールさん(右)

宅の住所を言えない状態だった男性のことを考え、数十分運転して最寄りの秋田臨港署まで連れて行きました。男性はその後、無事に家族と連絡が取れたそうです。

見知らぬ人に声を掛けるだけでも勇気が必要ですが、自らの車で警察署まで送り

届けたカビールさんは今回の件について、「自分の行動によって男性の方が無事に帰宅できて、とても安堵しています。困っている人がいれば皆で協力し合い、より良い社会を目指せたらと思います」と述べました。

2. 米山学友から能登半島地震へ多額の義援金

2024年1月1日に発生した能登半島地震に対し、多くの米山学友から義援金が届いています。

1975年以前に日本へ留学していた米山学友を含むベトナム人グループの方々からは、合計1,907,841円という高額の義援金を送金いただきました。

義援金の募集に際し、米国在住のグエン・アン・トンさん（1973-74/姫路RC・1974-75/甲府北RC）のグループと、日本在住のファン・マン・カーさん（1974/仙台北RC）の2つのグループが取りまとめに動いてくださいました。

グエン・アン・トンさんからは、「米山学友を含むベトナムの元留学生たちの心がこもった義援金です。日本へ留学した経験を持つ私たちは、それぞれ異なるバックグラウンドを持ちますが、今回起きた地震で被災した方々を支援するために一致団結しています。私たちの思いは、被災した方々の生活を少しでも楽にし、復興への道のりを支援できると信じています。能登半島、

頑張れ!!」という、力強いメッセージも届いています。

台湾米山学友会からは、地震発生後まもなくして支援の申し出があり、理事長の林志昇^{リンシシヨウ}さん（1992-94/津RC）と、幹事長の張逸崑^{ジャンイクケン}さん（1997-98/杵築RC）が中心となり、学友に呼びかけを行いました。張さんの「真冬の地震発生に、過去の台湾での地震を思い出し、いてもたってもいられませんでした。今回のような能登半島の大きな被害に対し、義援金を送ることしかできないことがとてももどかしいです。被災された方々が一日でも早く元の生活に戻れることを願っています」という温かいメッセージとともに、同学友会から義援金として100万円が届きました。

お預かりした義援金は、当会からまとめて被災した地区へ送金する予定です。学友の皆さんの思いに改めて感謝申し上げます。

3. 寄付金速報 — 2024 年は緩やかにスタート —

前年同期比

+ 3.0%

普 - 1.3% 特 + 5.1%

1 月末までの寄付金は前年同期と比べて 3.0% 増（普通寄付金:1.3%減、特別寄付金:5.1%増）、約 3,200 万円の増加となりました。

クラブ会員の皆さまに厚く御礼申し上げます。例年 1 月は、普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただく定期寄付）の下期分の納入が主となります。2 月も引き続き、皆さまのご協力を賜りますようお願いいたします。

4. 「再会 in 関東」 フルバージョン 動画公開

米山記念奨学会では、公式 YouTube チャンネルにて、当事業に関する動画を随時公開しています。今回新たに、昨年 8 月に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」のフルバージョン（約 21 分）を公開しました。過去最大の 1,000 人以上がつくばに集結した模様に着目しています。大いに盛り上がった 4 年ぶりの世界大会の様子を、ぜひご覧ください。ご希望があれば、動画ファイルをお送りすることも可能です。広報担当までご連絡ください。



5. 能登半島地震を経験した奨学生

第 2610 地区の現役奨学生である張 若愚さん（2023-24/金沢東 RC）は、中国語の発音から「タコちゃん」という愛称で呼ばれており、実家から持参したプーアル茶を振舞ったり、母国の文化について伝えたりと、クラブの方々との良い関係を築いているそうです。



クラブ例会で卓話する張さん

そんな張さんは、1 月 1 日の能登半島地震で非常に大きな揺れに遭遇。母国を離れ日本で経験する大地震にも関わらず、落ち着いていました。というのも、張さんが大きな地震に見舞われるのはこれが 3 度目。2008 年、2013 年に故郷・四川省での大地震を経験していました。特に、初めての地震は人生で最も衝撃的で、自分も周りもパニック状態の中、自らの身を守ることに必死だったそうです。能登地方で地震が発

生した直後、これまでの経験を生かし安全の確保、電波の確認などを速やかに行いつつ、津波に備えるため山側へ避難したそうです。

母国と日本での経験を比較してみると、日本の建物の方が揺れは大

きいが倒れにくい、防災教育が浸透している、津波への備えがあることを感じたそうです。

来日して初めて地震を経験する奨学生や学友たちに向けては、「油断や焦りは禁物です。余震・土砂崩れ・火災などの二次災害には特に気を付けてください。心理状態を安定させるために、マイナスな情報ばかりを得ないようにすることも、自分を守るために大切です。もし女性一人で避難する状態であれば、身の安全の確保には細心の注意を払ってほしいです」と、これまでの経験を基にアドバイスを送りました。

第1地域 コーディネーター補佐

中野 正美 (太田RC)

今年度ガバナーエレクトの皆様はオランダに行くことが叶い、アーチック会長エレクトのテーマ「ロータリーのマジック」を直接聴くことが出来たことは喜ばしく、また大変羨ましく思います。より深く心に染み渡ったことでしょう。私は2022-2023年度、ジェニファー・ジョーンズRI会長年度の地区ガバナーを務めさせていただきました。私の同期ガバナーは皆さんオランダでの国際協議会に行くことが出来ませんでした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で国際協議会を開催予定直前の2021年12月になりRIによりバーチャルのみで実施する方針が決定されたためでした。



アーチック会長エレクトはスピーチの中で「ポリオ根絶」と「平和の構築」はロータリーの最優先事項ですと述べています。そしてポリオ根絶に欠かせないのがパキスタン全土でワクチン接種に携わっているヘルスワーカーの女性たちだと述べられ、パキスタンを訪問して彼女らに会うことにしているそうです。ポリオプラス・ソサイエティの促進も目標に挙げられていました。

もう一つの最優先事項の、平和の構築のためにロータリー会長平和会議「分断された世界を癒す」を催すと話されています。ジェニファー・ジョーンズ元RI会長がエレクトの時のスピーチ、zoomでの国際協議会で話したエピソードがまさにロータリー平和フェローの素晴らしいインパクトでした。それはハンブルグのロータリアンから当時のジョーンズ会長エレクトに助けを求める依頼の電話があったそうです。アフガニスタンのカブールで平和活動をしている若い女子学生が、タリバン政権で危険にさらされている、何とかして避難する飛行機に乗せてあげることができないかというものでした。当時のジョーンズ会長エレクトは元ロータリー平和フェローのことを思い出し、連絡が取れて、1日もたたないうちに避難者リストに加えられて、2日後の空港封鎖直前にヨーロッパ行きの飛行機に乗ることができた。これぞmagic of Rotaryだと言っていました。

日本の場合、国際基督教大学のロータリー平和フェローセンターを支える資金は財団から大学に研究などに対する資金は支給されています

が、いろいろな施設見学など見聞を広めるための活動に対する支援額が十分とは言えないというお話(換算するとロータリアン一人あたり年間15円の負担とのことです)を伺って、アーチック会長エレクトの平和の構築の一環として、我が国のロータリー会員は国際基督教大学の平和フェローセンターへの支援を更に強化できればと考えます。

第1地域 公共イメージコーディネーター

石黒 秀司(郡山RC)

2019-20年度当2530地区公共イメージ・IT委員会が2,000人規模で行ったアンケートから興味ある設問・回答をご紹介します。



■公式ロゴ 見たことがありますか? ..あるが、16%。(ほんとか??..愕然!!)

■「ロータリークラブ」または「ロータリー」という団体について、見たり聞いたりしたことはありますか? ..あるが、55%。委員会コメント「公式ロゴ認知度に反し意外に多い印象」「40歳代が分岐点。40歳代が52%、50歳代が66%、60歳代が80%、70歳代が80%。しかし、20、30歳代は、30%程度。男女比では、男性の割合が高い」

■「ロータリークラブ」または「ロータリー」はどんな活動をしている団体だと思いますか?

全く知らない-32%、地域の社会奉仕ボランティア活動-17%、会員同士の親睦・交流-14%

会員の職業をとおした地域貢献-12%。・委員会コメント「知っている方の中でも青少年育成活動(4%)と疾病予防根絶活動(1%)の認知度が低い」(えっ、ポリオ根絶が1%??)

では、愕然のアンケート結果を受け、公共イメージ向上戦略をどう取ってきたのか? 残念ながら地区もクラブも個人も積極的な動きは、なかったと反省の極み!!!!

新公式ロゴに変わったのが10年以上も前。どうでしょう。周りでつけているのは、極々一部の方のみです。まずは、公式ロゴバッジをつけましょう。そして、積極的に他の会員に公式ロゴバッジをつけるよう猛烈アピールしましょう。さらに、いつもつけるようにと。

【次ページへ】

ロータリー所属の喜びと矜持をもって、バッジをいつもつけていたことが、読み取れる先輩のエッセイを目にします。例えば、「伊達にはつけぬ襟のバッジ」(大阪RC村田省蔵氏)「バッジは見ている」(福島南RC佐藤信氏)など。「バッジをつけている以上、自己を律し、ロータリアンらしからぬ行動はとれない。」「自己成長の意識をもって、例会等に参加し、多くの会員と意見交換を行い、他の良質なロータリアンの良い部分を学び、自己に取り入れ、立派な人間になる。」・「いつもバッジ着用」の上で「立派な人間への成長と誇りあるロータリアンの諸々の行動」これが公共イメージ向上の必要条件です。「あんな立派な方がロータリアンなら、私も入りたい」「あのような方と話したい」コツコツ音が出る位の個々のいつもの行動が、公共イメージ向上につながります。やるのか。やらないのか。ロータリーの未来は、私たちの手中にあり、澎湃のごとく大きなうねりになるかもしれません。

第1地域 R財団地域コーディネーター補佐

中川 高志 (大宮RC)

補助金について

2013年4月未来の夢計画が承認され、補助金のプロセスはシンプルとなり、管理運営と意思決定は地区にゆだねられるようになりました。その結果補助金の管理運営費の削減と持続可能性を最大限に生かすことにより寄付を有効に活用できるようになりました(資金の88%は補助金プログラム運営に費やされています)。そして現在、ポリオプラスとロータリー平和センターを除く人道的および教育的プログラムは地区補助金、グローバル補助金の2種類に統合されています。この未来の夢計画の資金モデルは「エジソン賞」(優れた新商品、サービス、マーケティングなどに贈られる権威のある賞)を受賞しています。



そしてロータリー財団はチャリティーナビゲーターによる慈善団体への最高評価を毎年受賞しています。

ご存じのように、地元や海外でのプロジェクトに活用できるDDFとして50%が配分されます。さらにその50%までが地区補助金として「財団の使命に沿う」という条件を満たせば地区の裁量で自由に使うことができます。2770地区では全クラブに小口で配分するとともに5000~10,000ドルの大口枠を公募しています。地域の文化に即した奉仕活動に

活用しています。また、大口枠はグローバル補助金プロジェクトの前段階的な意味合いも考慮して運用しています。

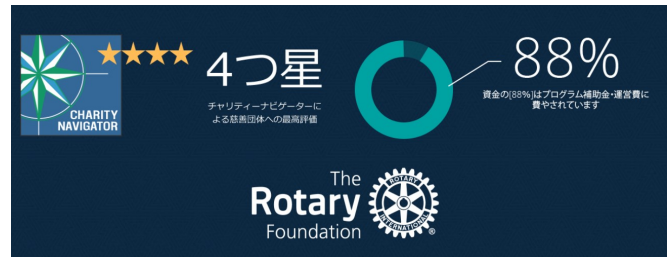
測定可能・持続可能な成果のあるプロジェクトをより多く推進するため、7つの重点分野(基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、疾病予防と治療、母子の健康、平和構築と紛争予防、水と衛生、環境)に絞った補助金がグローバル補助金です。未来の夢計画以前は測定・持続可能な成果に乏しい小さなプロジェクトが80%に及んでいましたが徐々に成果は上がり2022-23年度では世界で1092件5,500万ドルもの授与額になっています。日本では80件154万ドルの承認です。2770地区では通算47件で比較的活発にグローバルプロジェクトを推進しています。クラブ単独でプロジェクトに取り組むには少し難易度は高めですが、地区財団委員会、日本事務局は支援を惜しみません。わたくし自身も2015-16(井原)年度財団部門委員長として、セブでVTT(GG1637229 Ultrasonic Diagnostic Device For Early Detection)をしてきました。計画段階から苦勞の連続でしたが実りある心に残るプロジェクトだったと思っています。

ぜひ皆様のクラブでもチャレンジしてください。



3種類の補助金 1つのビジョン

補助金モデル「未来の夢」では、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修のほか、クラブと地区がより持続可能性の高いプロジェクトに補助します。割合を80%に高めることを目標にロータリーが国際開発や人道的奉仕におけるリーダーとなることを促進します。ポリオ・プラスとロータリー平和フェロウシップを除き、補助金が3種類になります。



第2640地区 会員数報告(2024年1月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	23.7.1	内女性	24.1月末	内女性	1月	内女性	累計	1月	内女性	累計		23.7.1	内女性	24.1月末	内女性	1月	内女性	累計	1月	内女性	累計
串本	5	1	4	1	0	0	0	0	0	1	松原	11	0	8	0	0	0	0	0	0	3
那智勝浦	9	0	8	0	0	0	0	1	0	1	松原中	23	3	23	3	0	0	1	0	0	1
新宮	45	2	49	4	2	2	5	0	0	1	美原	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	5	0	4	0	0	0	0	0	0	1
田辺	86	4	86	4	0	0	1	0	0	1	太子	16	1	15	1	0	0	0	0	0	1
田辺東	36	3	34	2	0	0	1	0	0	3	富田林	32	0	31	0	0	0	0	0	0	1
田辺はまゆう	28	6	31	6	2	0	5	0	0	2	泉佐野	25	0	26	0	0	0	1	0	0	0
有田	24	1	25	1	0	0	1	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0
有田南	22	1	22	1	0	0	0	0	0	0	貝塚コスモス	12	3	12	3	0	0	1	0	0	1
有田2000	13	0	12	0	0	0	0	0	0	1	関西国際空港	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
御坊	36	3	35	2	0	0	1	1	0	2	岸和田	31	1	31	1	0	0	0	0	0	0
御坊東	13	0	12	0	0	0	0	0	0	1	岸和田東	39	7	41	8	0	0	3	0	0	1
御坊南	15	6	14	5	0	0	0	0	0	1	岸和田南	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0
海南	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATORI向日美	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	39	5	0	0	0	0	0	1	りんくう泉佐野	15	3	15	3	0	0	0	0	0	0
海南西	15	1	15	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
和歌山	76	1	81	2	0	0	6	0	0	1	和泉	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
和歌山アゼリア	29	11	27	9	0	0	0	0	0	2	泉大津	41	3	44	4	0	0	3	0	0	0
和歌山東	50	0	51	0	1	0	2	0	0	1	和泉南	59	2	61	2	1	0	2	0	0	0
和歌山城南	37	2	38	2	0	0	1	0	0	0	大阪金剛	12	1	12	1	0	0	0	0	0	0
和歌山中	17	0	18	0	0	0	1	0	0	0	高石	25	1	25	1	0	0	0	0	0	0
和歌山北	28	1	30	2	0	0	2	0	0	0	高師浜	10	1	10	2	0	0	1	0	0	1
和歌山南	70	6	74	8	2	0	6	0	0	2	堺	40	3	42	4	0	0	4	0	0	2
和歌山東南	36	5	39	5	0	0	3	0	0	0	堺東	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
和歌山西	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	23	3	22	3	1	0	1	0	0	2
橋本	45	0	44	0	1	0	2	0	0	3	堺中	15	3	17	3	0	0	2	0	0	0
岩出	23	1	23	1	0	0	0	0	0	0	堺北	29	1	28	2	2	1	3	0	0	3
河内長野高野街道	18	5	17	5	0	0	2	0	0	1	堺おおいずみ	24	3	23	0	0	0	0	0	0	1
粉河	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0
高野山	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	堺清陵	19	4	21	4	0	0	2	0	0	0
羽曳野	9	0	10	0	0	0	2	0	0	1											
河内長野	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪 ロータリークラブ	8	0	7	0	0	0	0	0	0	0
河内長野東	22	2	22	2	0	0	0	0	0	0	計	1,548	128	1,565	131	12	3	65	2	0	44



クラブ数	2022年7月1日 会員数		2023年1月末 会員数		1月入会		1月退会		増減	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
64	1,420	128	1,434	131	9	3	2	0	7	3
	1,548		1,565		12		2		10	

クラブを成功に導く会員増強 みんなを温かく受け入れるクラブづくりを！

会員増強はクラブの最優先事項です！

Rotary  My Rotary

MY ROTARY 登録状況 [2024年2月27日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2024年2月27日	1,561	769	49.26%

1 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	串本	4	1	25.0%
	那智勝浦	8	2	25.0%
	新宮	49	14	28.6%
	白浜	10	6	60.0%
	田辺	86	51	59.3%
	田辺東	35	14	40.0%
	田辺はまゆう	31	9	29.0%
	分区計	223	97	38.1%

3 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	和歌山	81	62	76.5%
	和歌山アゼリア	27	6	22.2%
	和歌山東	51	42	82.4%
	和歌山城南	38	10	26.3%
	和歌山中	18	5	27.8%
	和歌山北	30	17	56.7%
	和歌山南	74	53	71.6%
	和歌山東南	39	10	25.6%
	和歌山西	10	2	20.0%
	分区計	368	207	45.5%

5 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	羽曳野	10	2	20.0%
	河内長野	22	22	100%
	河内長野東	22	6	27.3%
	松原	8	6	75.0%
	松原中	23	8	34.8%
	美原	7	0	0.0%
	大阪狭山	4	4	100%
	太子	15	11	73.3%
	富田林	31	19	61.3%
	分区計	142	78	54.6%

7 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	羽衣	16	10	62.5%
	和泉	20	6	30.0%
	泉大津	44	22	50.0%
	和泉南	62	16	25.8%
	大阪金剛	12	11	91.7%
	高石	25	10	40.0%
	高師浜	10	8	80.0%
	分区計	189	83	54.3%

100% 達成クラブ
 貝塚ロータリークラブ
 河内長野ロータリークラブ
 大阪狭山ロータリークラブ

2023-2024年度
 登録率目標
88%

2 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	有田	25	12	48.0%
	有田南	22	3	13.6%
	有田2000	12	9	75.0%
	御坊	36	13	36.1%
	御坊東	12	7	58.3%
	御坊南	14	4	28.6%
	海南	8	5	62.5%
	海南東	39	36	92.3%
	海南西	15	1	6.7%
	分区計	183	90	46.8%

4 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	橋本	44	4	9.1%
	岩出	23	6	26.1%
	河内長野高野街道	17	10	58.8%
	粉河	14	9	64.3%
	高野山	14	8	57.1%
	分区計	112	37	43.1%

6 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	泉佐野	26	10	38.5%
	貝塚	14	14	100%
	貝塚コスモス	12	8	66.7%
	関西国際空港	16	4	25.0%
	岸和田	31	8	25.8%
	岸和田東	41	23	56.1%
	岸和田南	6	1	16.7%
	KUMATORI向日葵	8	4	50.0%
	りんくう泉佐野	15	7	46.7%
	分区計	169	79	47.3%

8 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	堺	42	15	35.7%
	堺東	16	14	87.5%
	堺泉ヶ丘	22	13	59.1%
	堺中	17	5	29.4%
	堺北	28	11	39.3%
	堺おおいずみ	23	20	87.0%
	堺フェニックス	6	2	33.3%
	堺清陵	21	18	85.7%
	分区計	175	98	57.1%

ガバナー	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪		7	6	85.7%
ロータリーEクラブ				

目標達成 5クラブ

3月の行事予定表

日付	行事	場所
2(土)	米山奨学生修了式	JA和歌山
	2024-2025年度米山記念奨学委員会会議	ガバナー事務所
9(土)	ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
	2024-2025年度ガバナー補佐・幹事予定者合同会議	けやきONE401
10(日)	RLI part I	ZOOM
	2024-2025年度PETS	アバローム紀の国
17(日)	財団補助金セミナー	JA和歌山
	第5回派遣候補生・受入学生オリエンテーション	けやきONE401
	和歌山市内9RCインターシティミーティング	アバローム紀の国
20(水)	御坊RC70周年記念ゴルフ大会	紀南カントリークラブ
23(土)	高師浜RC創立40周年記念式典	ホテルレイクアルスター泉大津



ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に役立ててもらうため、情報収集と紙面の充実に努めています。

皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける**活動情報**は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送信ください。また、毎号の**表紙写真**も併せてご提供ください。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー
第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室
TEL (073) 426-2640
FAX (073) 426-2660

e-mail : tani@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

